

#### お知らせ

2019年の<u>\*JIG国内委員会</u>における「ヒヤリハット改善事例 選考会」において、数ある空港関係事業者の改善事例の中から、当社伊丹事業所の改善事例が給油部門、施設部門ともに栄えある最優秀賞を受賞するという、これまでにない快挙を成し遂げました。

JIG国内委員会 ヒヤリハット改善事例 選考会 最優秀賞受賞

株式会社ENEOSスカイサービス 伊丹事業所 給油部門・施設部門(ダブル受賞)

\*JIG:ジェット燃料に係わる品質規格、取扱い指針を作成、管理している国際組織 \*JIG国内委員会:日本の石油元売、エアライン、空港施設、給油会社からなる石油 連盟の付置機構

### 表彰式を終えて記念撮影

(伊丹事業所皆さんと稲葉社長)

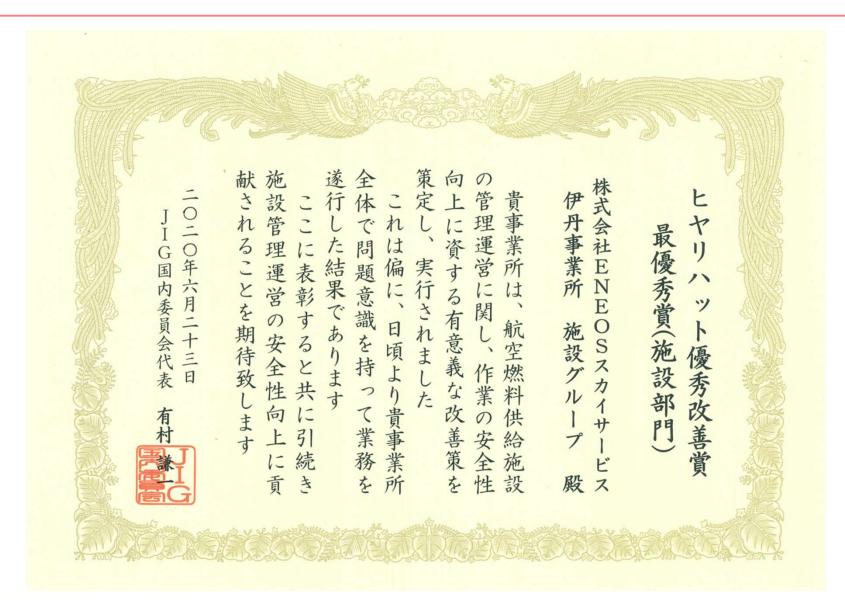


左から 森さん、星加さん、松井さん、稲葉さん、大野さん、髙松さん、鈴木さん 株式会社ENEOSスカイサービス 2020年7月28日(火)

### 表彰状(給油部門)



## 表彰状(施設部門)



# ヒヤリハット改善事例(給油部門)

事象 航空機に燃料を供給する給油車両のリールホースを巻き取る際、ホース先端 ノズルが固定されていなかったことから、ホース電動巻き取り時にノズルが 無作為に振れ、ノズルの損傷又は身体へ接触する危険があった。

対策 車両側に新たなフック・ロープを取付け、ホース先端ノズルをフックに固定した ことにより、ホース電動巻取り時にノズルの無作為な振れがなくなり、ノズル の損傷や身体へ接触する危険を未然に防ぐことに繋がった。





株式会社ENEOSスカイサービス

# ヒヤリハット改善事例(施設部門)

事象 バルブ作業時の思い込み(ヒューマンエラー)

作業者は1番バルブを開放したつもりで、実際は隣の2番バルブを開けてしまい、作業管制室指揮者へは「1番バルブ開放OKです」と無線報告した。

対策 類似したバルブレバーの誤操作を防ぐため、各バルブに色付き札を取付け、同色の色付き札を管制室 にも設置した。バルブ作業者が1番バルブを開放した時は「1番バルブ〇〇色開放OKです」と番号と色付き 札を管制室指揮者に無線で伝えることにより管制室指揮者側でも番号と色付き札の照合確認を行い、 ヒューマンエラーの予防対策とした。

加えて、色付き札は2ヶ月毎に入替えを行い、作業者の記憶によるエラーも防ぐ運用とした。





株式会社ENEOSスカイサービス